

2021年4月

会 員 各 位

ユニシス研究会
中 国 支 部

2021年度『中国支部研究活動』メンバー募集のご案内

拝啓 時下益々ご清栄の事とお慶び申し上げます。

平素はユニシス研究会活動にご協力、ご支援を頂き厚くお礼申し上げます。

昨年からの新型コロナウイルス感染は未だ収束が見られず会員各位におかれましては日々の活動に制限がある中、努力を重ねられていることと存じます。

ユニシス研究会では、会員の皆様が日常業務の中で抱える課題やこれからのITを駆使した働き方などをテーマに、会員同士や日本ユニシスグループ社員との情報・意見交換の場、また相互研鑽の場として、各種の研究活動を推進しております。

今年度も会員企業の皆様を対象に「グループ研究」形式による研究活動を実施致します。

今年度の活動は、昨年同様、新型コロナウイルスの感染拡大による影響を考慮し、Web 会議を主体とした非接触型の活動と、状況により集合での活動を組み合わせた活動形態で進める予定です。会議体への移動時間削減、テレワークによる参加のしやすさなどプラス面を積極的に活用し工夫しながらご自身の成長へつなげていただきたいと思います。

第1回目の会合では発足式を兼ねテーマ選定を予定しております。

詳細は次ページ以降をご覧ください、ビジネスヒントの発掘や企業の枠を超えた人材育成、新しい交流の場として、ご活用いただきたく、多数のご参加をお待ち申し上げます。

敬具

添付資料1. 「中国支部研究活動」メンバー募集・運営要項

2. 2021年度研究活動 活動テーマ案

3. 参加申込書

以上

「中国支部研究活動」メンバー募集・運営要項

1. 活動概要:

特定の研究テーマを、参加メンバーの自主的な運営により、継続的に研究していく活動です。課題を如何に解決していくかという「研究活動」を通して成果を出すことを目的としております。

2. 研究テーマ:

テーマは参加メンバーでお話し合いの上、決定していただきます。
テーマ案は、添付資料2 をご参照下さい。

3. 参加資格:

ユニシス研究会会員企業の方で、継続して参加可能な方とします。

4. 参加費:

(1)本年度研究活動費として、1企業あたり、¥20,000 を申し受けます。

参加人数に係わらず、1企業あたり、¥20,000

参加メンバー確定後、「連絡責任者」様へ参加費をご請求させていただきます。

(2)活動の為の移動交通費・旅費などの経費は、参加会員の負担とさせていただきます。

5. グループの構成:

(1) 参加メンバー5名以上をもって1グループを構成します。

(2) 参加メンバーの中から、「リーダー」「サブリーダー」「書記」を互選する事とします。

(3) 活動には、日本ユニシスグループより選出されたアドバイザーが参加し、研究活動を支援します。

6. 活動期間と会合回数:

(1) 活動期間は本年5月から翌年2月末までとします。(発表会を除く)

期間中、月1~2回程度の会合(半日)を持ちますが、詳細はグループ運営の中で決定します。但し、会合時間は通常業務時間内とします。

(2) 活動自体は回数・時間を多く費やすことは決して良いことではありません。

ご自分の業務に支障をきたす活動は本来の活動の形ではありません。

参加メンバー皆様には限られた時間の中で効率よく活動を行っていただきますよう、予めご理解頂きご参加下さいますようお願いいたします。

(3) 参加メンバー向け『事前説明会』について

事前説明会は、Teams 会議で実施予定です。開催日は5月27日(木)から28日(金)の間で、参加者が決まり次第、メンバーの日程を調整し決定させていただきます。なお、初回打ち合わせ(キックオフ)については、6月初旬に、その時点の状況にもよりますが、密を避ける工夫をしたうえで、メンバーの皆さまに集合いただける形態にて実施させていただこうと考えています。

7. 活動運営について:

- (1) 研究活動の企画・運営は参加メンバーの自主運営とします。
- (2) グループのリーダー・サブリーダーを対象に8月下旬から9月上旬にグループの活動内容の中間報告をしていただく予定です。
- (3) 研究成果は、来年1月下旬に「研究活動報告書」として提出して頂きます。
- (4) 「全国研究活動成果発表会」での発表をより良いものにするため、来年2月中旬に中国支部会員、および日本ユニシス中国支店の社員に向けて、発表リハーサルを計画しています。
- (5) 来年3月4日(金)に「全国研究活動成果発表会」として中国支部以外の方に向けて発表していただきます。(状況により発表形態は変更になる場合があります)
- (6) 特に優れた成果には、「全国カンファレンス(2022年6月)」等で発表して頂く事があり、「エッカー特賞」やその他入賞制度の受賞候補として推薦されます。
- (7) ご報告いただいた研究活動成果(研究活動報告書、プレゼン資料その他発表資料を含みます。)の著作権は著作者に帰属するものとします。但し、著作者は、ユニシス研究会が情報発信する機関誌や Web サイトにおいて、著作者の研究活動成果の掲載・配布に関する権利(個人名・会社名・所属先の公開を含みます。)をユニシス研究会に無償で許諾するものとします。

8. 申込方法:

QRコードよりお申し込みいただくか、添付資料3「参加申込書」にご記入の上、5月21日(金)迄にメールでお送り下さい。



9. お問い合わせ:ユニシス研究会中国支部事務局 古川

E-mail: juaa-chugoku-info@unisys.co.jp

TEL:050-3132-2979 FAX:082-247-5933

以上

2021年度研究活動 活動テーマ案

	キーワード	テーマタイトル(案)	活動内容(案)
1	働き方改革	働き方改革とワーケーション	テレワークの拡大により、仕事をする場所(自宅)が会社の所在地に近くである必要がない状況となりつつあるが、もう一步進めたワーケーションの課題(技術面や運用面)を洗い出して解決することで働き方改革の推進に寄与する。
2	5G	5G/ローカル5G	5G対応のスマートフォンが各社から出揃ってきているが、5G対応スマートフォンを利用した新しいビジネスの研究だけでなく、ローカル5Gを利用した会社単位での新しい情報システム基盤の研究についても研究対象とする。
3	人材育成	オンライン教育	コロナ禍でオンライン教育の導入が加速し、メリットデメリットを体感する機会が増えた。小学校～大学、社会人向け、企業内の教育など、様々なシチュエーション、手法における技術面、運用面の課題を整理し解決策や有効性を高める方策を検討する。
4	デジタルマーケティング	デジタルでリアルな消費者行動の変化を捉える	社会構造のデジタル化に伴い、消費者行動が変化している。これに対応するためには今後の企業には、より強い、より多くの顧客とのエンゲージメントが重要となっている。現在成長しているビジネスモデルを研究することで、自社に適合する仕組みを検討していく。
5	DX推進	企業のデジタル変革事例から学ぶ推進策	デジタル庁が発足するなど、デジタル後進国の日本においてもようやく本格的にデジタル変革が始まっている。はやく自社でもデジタル変革を行うためにもこれまでの成功事例を研究することで社内での推進を促進させる方策を検討する。
6	withコロナのシステム開発プロジェクト	withコロナにおけるシステム開発のチームビルディング	これまで一か所に集約しての開発スタイルが中心であったが、地方にいるメンバーのリモート開発が可能となったことでプロジェクトチーム編成時の注意点や環境、意思疎通など様々な注意点を洗い出し、実践に活用する。
7	eスポーツ	eスポーツによる地域創生	新たなスポーツとして注目されている「e-スポーツ」。異業種参入などこれから大きなビジネスチャンスになっていく分野として注目されている「e-スポーツ」をテーマに、具体的に分野を取り上げて実現までに至るアイデアを研究する。
8	AI	お試しから始めるAI活用	RPAやAI等、重要性や効果が期待されるIT技術があることは分かっているものの、二の足を踏む企業はまだ多いと思われる。また、安易に導入すると失敗してしまうことも、これらのある意味特徴でもある。このような中、安価なAI処理ボードが発売されたこともあり、初期検討のハードルは下がってきた。まずは基礎を体感+理解し、それから徐々に商用サービスのPoCに移行することで良いのではなかろうか。本研究を通じて簡易的なシステムを構築し、AI導入の注意点やポイントを学び、AI全体像の理解について考察を深める。
9	DevOps NoOps	新しい開発と運用の姿	開発プロセスは、早期稼働、低コストを目的に、ウォーターフォール型から、大きく変化している。一方、運用プロセスにおいては、開発・運用の分離を基本とし、開発プロセスの進化に追いついていない。DevOps、NoOpsを実現する上で、どのような体制、プロジェクトの進め方が必要となるかを検討する。
10	ICTによる地域経済活性化	地域の企業とICT	地域経済の活性化のため、ICTがどのような役割を果たし得るかを分析し、可能性を整理する。企業へのアンケート調査の結果や企業の先進的なICT活用事例の分析を通じて、地域経済活性化に資する企業での実効的なICT利活用の在り方を検証する。

添付資料3

ユニシス研究会中国支部事務局 行

Mailto:juua-chugoku-info@unisys.co.jp

ユニシス研究会「中国支部研究活動」参加申込書

【個人情報の取り扱いについて】

ご入力いただくお客様の個人情報は、日本ユニシス株式会社、並びに当社のグループ企業、及びユニシス研究会が、1)本セミナーに関する連絡・確認、2)当社および当社のグループ企業等からの製品・サービスに関する情報提供、イベント・セミナー等のご案内及びマーケティングの目的で利用させていただきます。

ご入力いただいたお客様の個人情報については、当社の「個人情報保護基本方針」に従い、厳正に取扱います。なお、個人情報の開示、訂正、削除、情報提供の停止等のお申し出、その他ご質問がございましたら、下記のお問合せ先までご連絡いただくか、当社ホームページからお申し出ください。また、当社グループ企業への個人情報の提供と、各社の個人情報保護方針については、下記リンク先よりご覧ください。

- 当社グループ企業への個人情報の提供について http://www.unisys.co.jp/privacy/u_group.html#1

- 日本ユニシスグループ企業 各社個人情報保護方針 <http://www.unisys.co.jp/com/group.html>

- ユニシス研究会 個人情報保護方針 <http://www.yuni-ken.gr.jp/privacy.html>

以上の個人情報に関する取扱いにご同意いただけましたら、次の「同意する」にチェックをお願いします。

【個人情報管理者】ユニシス研究会事務局 事務局長

同意する

【個人情報の問合せ窓口】ユニシス研究会中国支部事務局

〒730-0051 広島県広島市中区大手町 2-7-10 電子メール: juua-chugoku-info@unisys.co.jp

【ご参加者】

複数名ご参加の場合は本紙をコピーの上ご利用下さい。

会員名			
住所	〒 (会員以外の方はご記入下さい)		
フリガナ 参加者名		所属 役職名	
電話番号	()		
メールアドレス			
研究テーマ に関して	添付資料2 をご覧の上、ご興味のあるテーマに 印をご記入下さい。(複数回答可) 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 ・ 6 7 ・ 8 ・ 9 ・ 10 その他()		
備考			